

銘柄コード 7564

2018年3月期 決算説明会



株式会社 ワークマン

2018年5月9日 開催

- ・2018年3月期決算の概要 P3~P8
- ・今後の戦略について P9~P13
- ・2019年3月期決算の見通し P14~P20
- ・2018年3月期決算の詳細 P21~P26

● 2018年3月期決算の概要

今後の戦略について

2019年3月期決算の見通し

2018年3月期決算の詳細

決算概要



<単位:百万円、%>

	2017年3月期		2018年3月期			
	金額	前期比	実績	前期比	予想	予想比
チェーン全店売上高	74,291	+4.0	79,703	+7.3	77,260	+3.2
(既存店売上高)	—	+1.7	—	+4.7	(+1.8)	(+2.9)
営業総収入	52,077	+5.0	56,083	+7.7	54,249	+3.4
販売費及び一般管理費	9,143	+9.3	9,864	+7.9	9,601	+2.7
営業利益	9,553	+8.5	10,603	+11.0	10,124	+4.7
経常利益	10,735	+7.9	11,856	+10.4	11,293	+5.0
特別損失	97	—	60	△37.4	76	△20.4
当期純利益	7,142	+14.6	7,844	+9.8	7,397	+6.0
1株当たり当期純利益	175円03銭		192円24銭		181円29銭	

※ 2018年3月期の予想数値は、2017年4月28日発表の業績予想数値を使用しております。

出店状況

- 開店 30店舗、スクラップ&ビルド(既存店舗の活性化) 4店舗、閉店 6店舗
- 2018年3月末 821店舗(前期末比+24店舗)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2018年 3月末 692店舗(前期末比+32店舗)
- 直営店:業務委託店舗 105店舗、トレーニング・ストア 24店舗 合計129店舗
- フランチャイズ・ストア比率 84.3%(前期末比+1.5ポイント)

販売強化

- プライベート・ブランド(PB)商品 830アイテムを展開
 - ・ PB商品の売上高 255億 70百万円(前期比 +33.4%)、PB比率32.2%
- 企業向け作業服 夏用:「WM COOLシリーズ」年間:「WM CRAFTシリーズ」
高機能ウェア 「エアロSTRETCHジャンパー」、「STRETCHマイクロウォームパンツ」
- 新テレビCMの放映、マスコミ・ブロガー向け商品発表会など客層拡大を推進

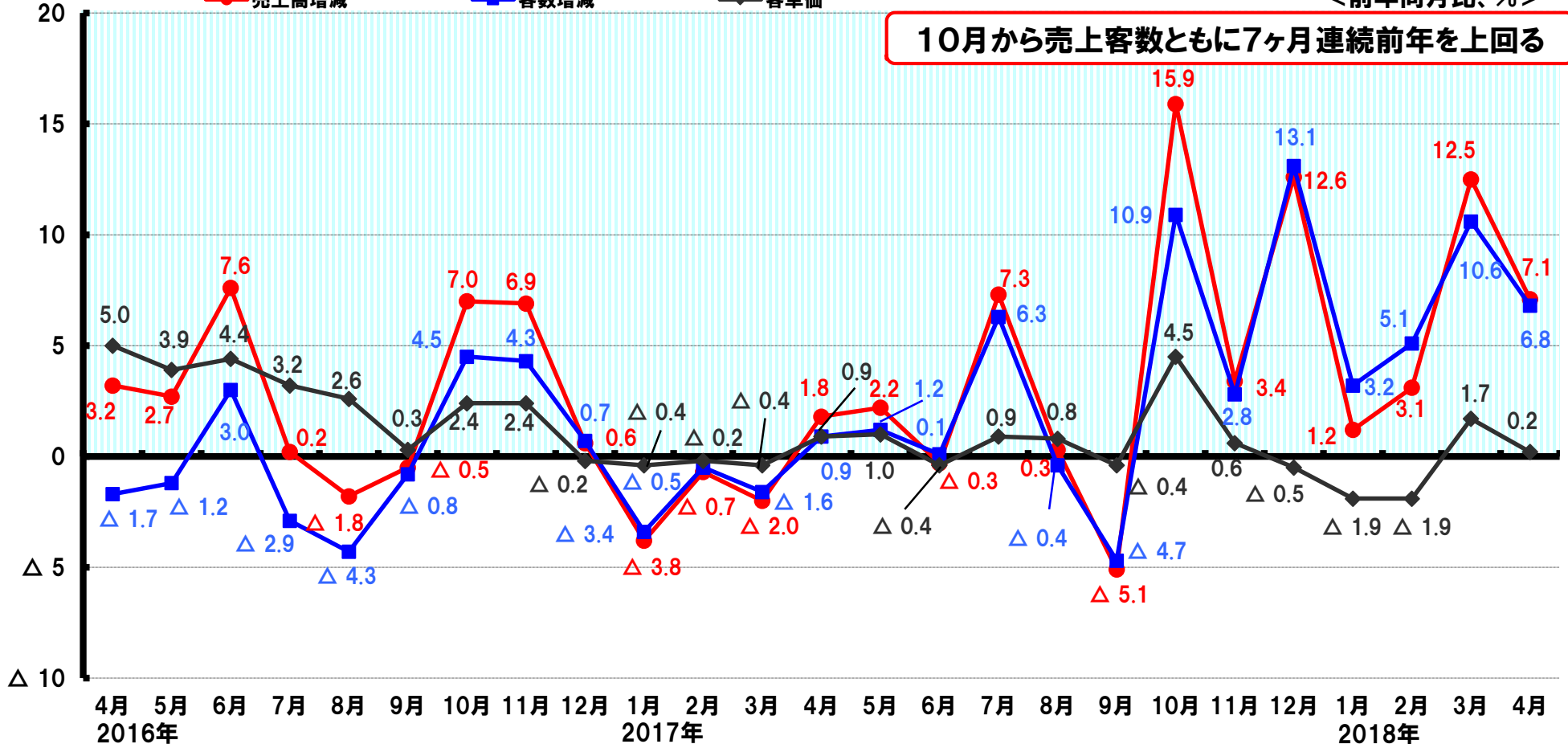
月次推移と要因

■ 既存店 売上・客数・客単価 月次増減

● 売上高増減 ■ 客数増減 ◆ 客単価

<前年同月比、%>

10月から売上客数ともに7ヶ月連続前年を上回る



17/3期 1Q既存店売上 +4.5%	2Q既存店売上 △0.7%	3Q既存店売上 +4.5%	4Q既存店売上 △2.6%	18/3期 1Q既存店売上 +1.2%	2Q既存店売上 +1.4%	3Q既存店売上 +10.0%	4Q既存店売上 +5.0%
---------------------------	------------------	------------------	------------------	---------------------------	------------------	-------------------	------------------

販売状況

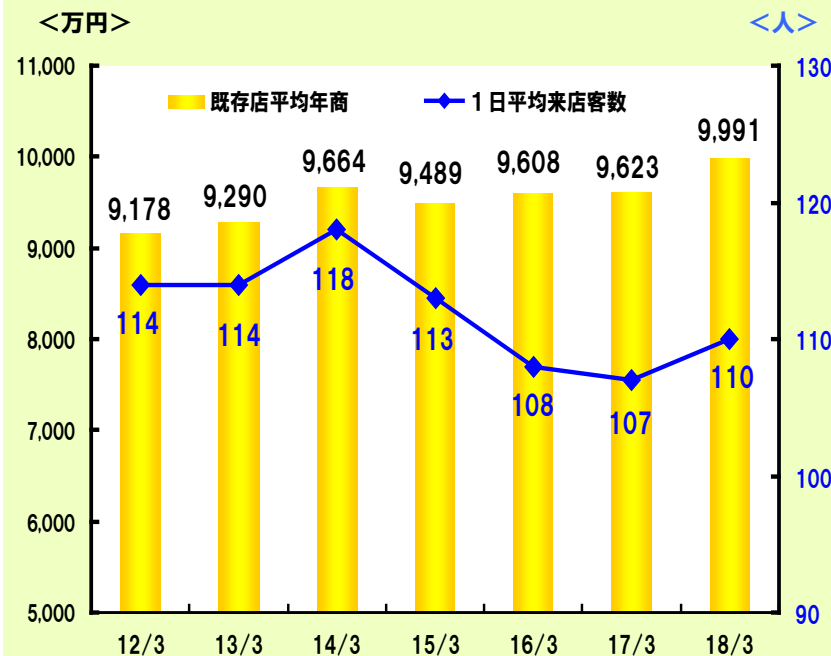
チェーン全店売上高 797億円 客数 3,071万人

<前期比、%>

	チェーン全店	既存店
売上高	+7.3%	+4.7%
客数	+6.8%	+4.1%
1日当たり平均客数	—	110人 (+3人)
客単価	2,595円	2,604円
	+0.5%	+0.6%
1品単価	960円	960円
	△1円	△2円
1人当たり買上点数	2.7点	2.7点
	+0.0点	+0.0点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しています。

既存店1店舗の平均年商と1日平均来店客数の推移



※2017年3月期以前の平均年商及び平均来店客数は各期毎に発表した数値を使用しており、対象店舗は2018年3月期の既存店舗とは異なります。

商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2017年3月期		2018年3月期		要因
	売上高	前期比	売上高	前期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・エプロン等	7,281	+7.1	7,651	+5.1	夏物靴下他 前期比△ 0.3% 冬物靴下他 前期比+ 8.4% 年間靴下 前期比+11.2%
カジュアルウエア ポロシャツ・コンプレッションシャツ・Tシャツ・ハイネックシャツ等	8,106	+9.6	9,006	+11.1	夏用Tシャツ・ホロシャツ他 前期比+15.2% 防寒ハイネック・コンプレッション 前期比+12.4% 防寒アウター 前期比+24.6%
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・つなぎ服・着衣料等	20,953	+5.9	23,476	+12.0	夏用ワーキングウエア 前期比+34.4% 防寒ワーキングウエア 前期比+39.6% 年間ワーキングウエア 前期比+ 6.4%
履物 安全靴・セーフティシューズ・地下足袋・長靴・厨房シューズ等	14,475	+0.4	14,730	+1.8	軽作業靴 前期比+ 2.7% 長靴 前期比+ 4.9% 足袋 前期比△ 6.2%
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・マスク・ヘルメット・レインスーツ等	21,275	+1.4	22,543	+6.0	レインスーツ・ヤッケ 前期比+14.2% 防寒スーツ・防寒手袋 前期比+19.3% 革手袋 前期比△ 4.1%
その他 食品白衣・オフィスユニフォーム・不織布作業服・オンラインストア等	2,199	+6.0	2,295	+4.4	不織布作業服 前期比+ 2.9% 女性用品 前期比+25.6%
合計	74,291	+4.0	79,703	+7.3	

2018年3月期決算の概要

● **今後の戦略について**

2019年3月期決算の見通し

2018年3月期決算の詳細

出店拡大

- ・ 年間約30店舗の新規出店
- ・ 人口の多い地域のドミナント強化

商品力強化

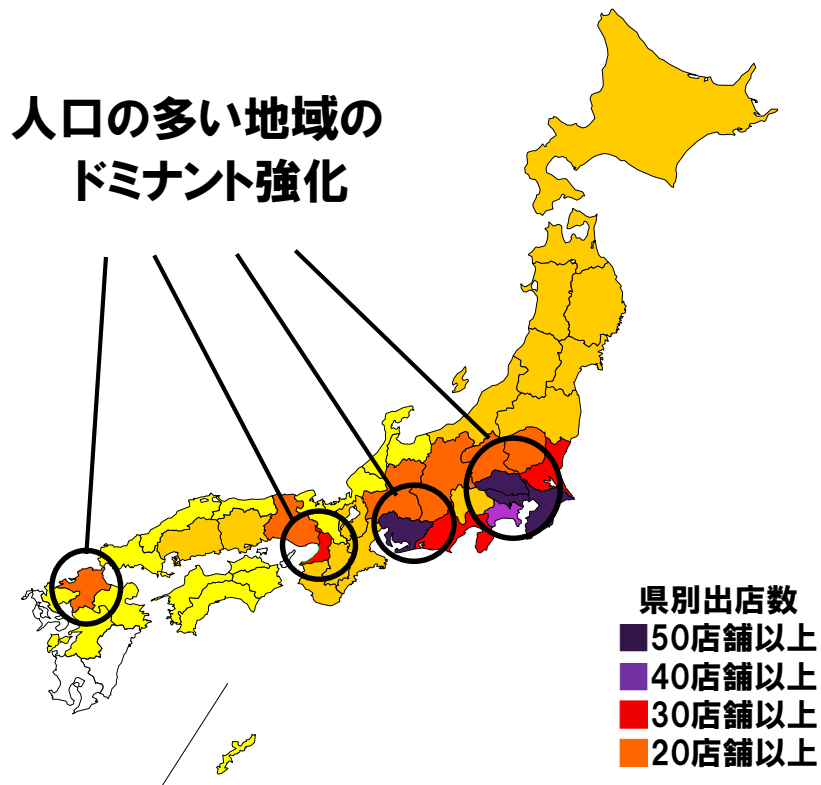
- ・ エブリデー・ロー・プライス(EDLP)で低価格の追求
- ・ プライベート・ブランド(PB)商品で客層拡大

加盟店サポートの充実

- ・ 法人営業(Gx1.5プロジェクト)の推進
- ・ 顧客管理システムと需要予測発注システムの導入

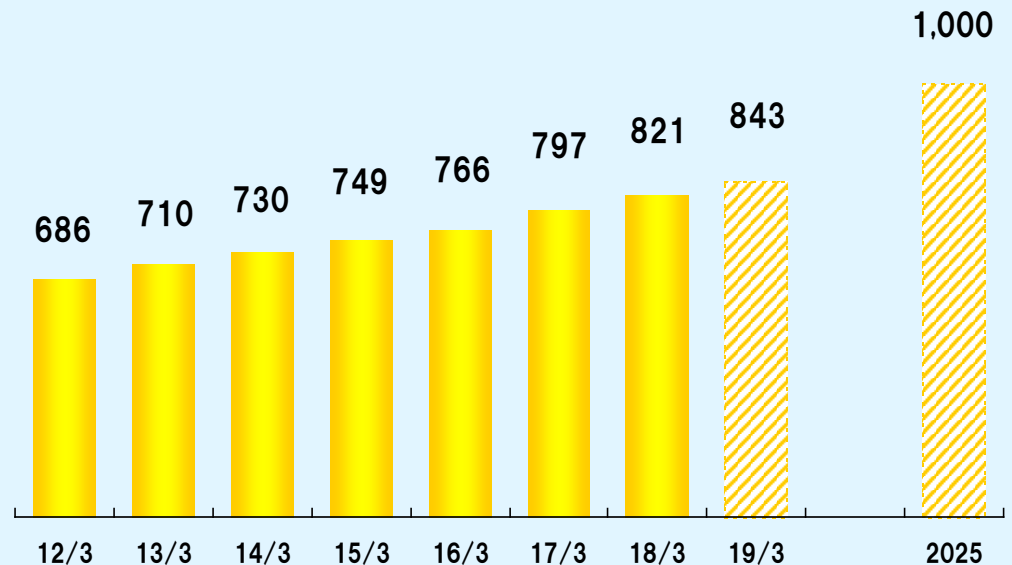
ドミナント・エリアの強化で個店売上の向上を図る

- 2025年に1,000店舗を展開し日本全国どこでも購入できる店舗展開を目指す
- 土地リース契約主体に売れる地域へ集中出店



期末店舗数の推移

(2019年3月期以降は目標値)



ワークマンでしか買えないプライベート・ブランド(PB)商品の開発を強化

- ワークマンブランドの強化による客層拡大
- EDLP商品の充実で価格競争力を強化
- 法人営業向け「G-Next」商品の開発で加盟店を支援



クロスワーク接触冷感
980円(税込)

春夏商品カタログP.47



リフレクティブスリーブ半袖Tシャツ
580円(税込)

春夏商品カタログP.43



エアロSTRETCHカーゴパンツ
1,900円(税込)

春夏商品カタログP.9



WM CRAFTジャンパー
1,500円(税込)

春夏商品カタログP.23

「Gx1.5プロジェクト」の推進でフランチャイズ・ストア平均年商1.5億円の実現

- 法人営業に対応したPB商品を7シリーズ展開 ⇒ 200万着計画
- ワークマンカタログのダイレクトメール発送と全国紙の全面広告掲載
- 需要予測発注システムの導入とスーパーバイザーの同行営業サポート

共通デザイン

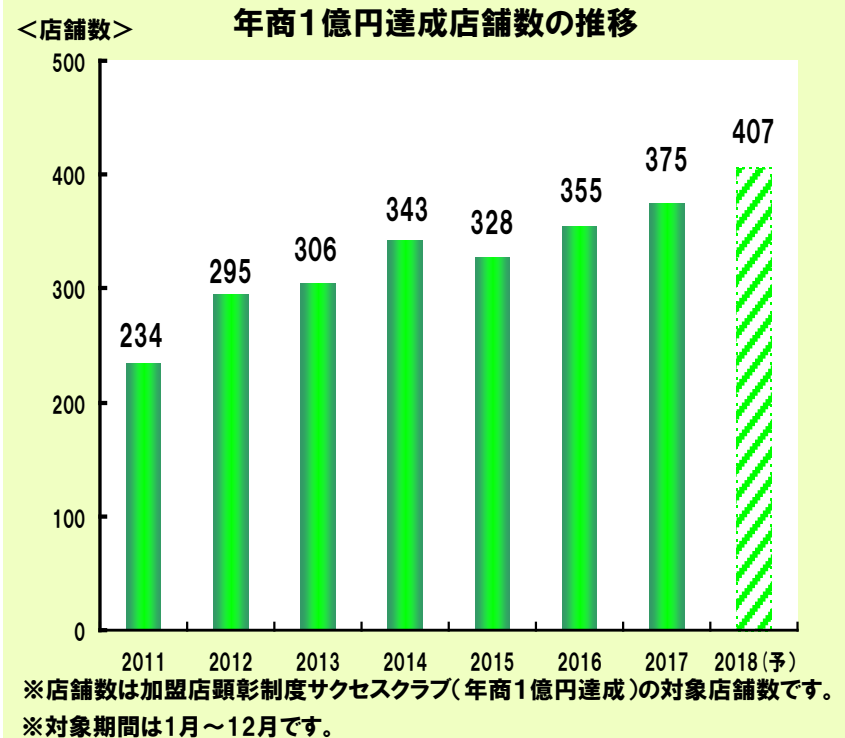


夏用 「WM COOL」
年間 「WM CRAFT」

共通デザイン



年間 「制電3Dカット」
冬用 「Wフラップ防寒」



2018年3月期決算の概要

今後の戦略について

 **2019年3月期決算の見通し**

2018年3月期決算の詳細

決算の見通し



<単位:百万円、%>

	2018年3月期		2019年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	79,703	+7.3	83,287	+4.5
(既存店売上高)	—	+4.7	—	+3.4
営業総収入	56,083	+7.7	57,913	+3.3
販売費及び一般管理費	9,864	+7.9	10,133	+2.7
営業利益	10,603	+11.0	11,180	+5.4
経常利益	11,856	+10.4	12,385	+4.5
特別損失	60	△37.4	47	△22.4
当期純利益	7,844	+9.8	8,221	+4.8
1株当たり当期純利益	192円24銭		201円48銭	
期末営業店舗数	821店舗		843店舗	

決算の見通しポイント

■販売計画

	チェーン全店	既存店
売上高	832億円 前期比+4.5%	前期比+3.4%
	上期+5.3%・下期+3.8%	上期+4.2%・下期+2.7%
客数	—	前期比+2.4%前後を想定
客単価	—	前期比+1.0%前後を想定

■出店計画

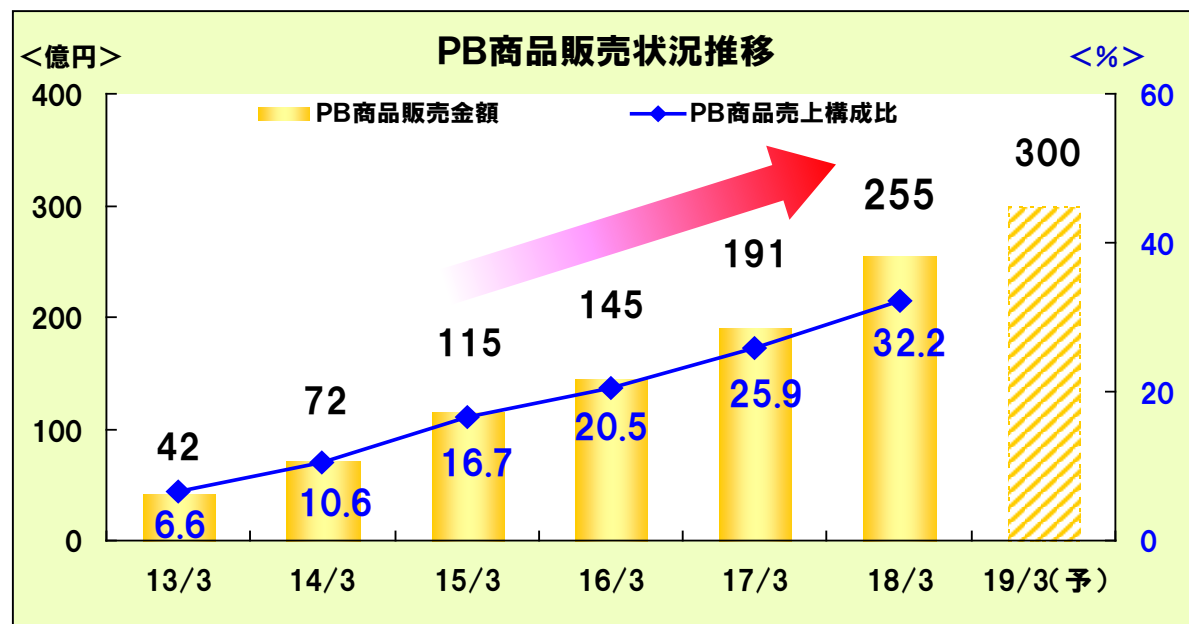
- ・ 2019年3月末 店舗数 843店(前年比 +22店舗)
- ・ 上期 8店舗、下期 19店舗の開店
- ・ スクラップ&ビルド 4店舗、閉店 5店舗
- ・ 長崎県へ初出店



PB(プライベート・ブランド)商品開発

2019年3月期計画

- PB商品売上高 300億(前期比約 20%増)
- アウトドア・スポーツテイストの開発で客層拡大を推進
- 「プロが認める品質」を維持したEDLP商品の充実で低価格政策を強化



加盟店サポート強化

■ 加盟店サポート策

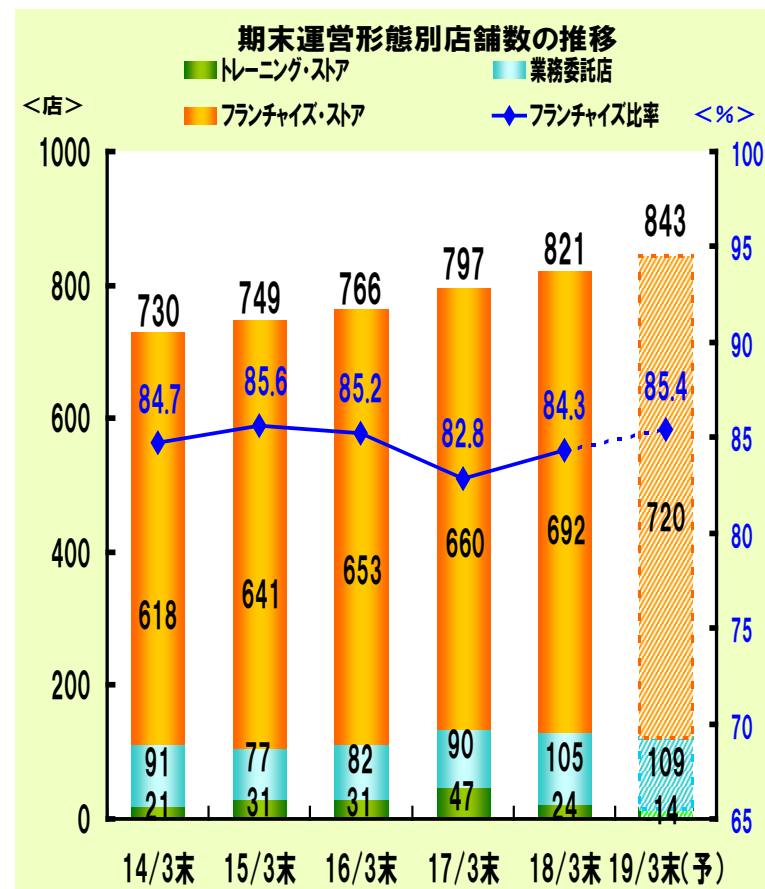
- ・ 需要予測発注システムの本格導入による販売機会ロスの抑制
- ・ データ分析に基づくシーズン中のタイムリーな売場変更
- ・ スーパーバイザーの同行営業で法人営業バックアップ

■ 個店売上の向上でフランチャイズ・ストア化を推進

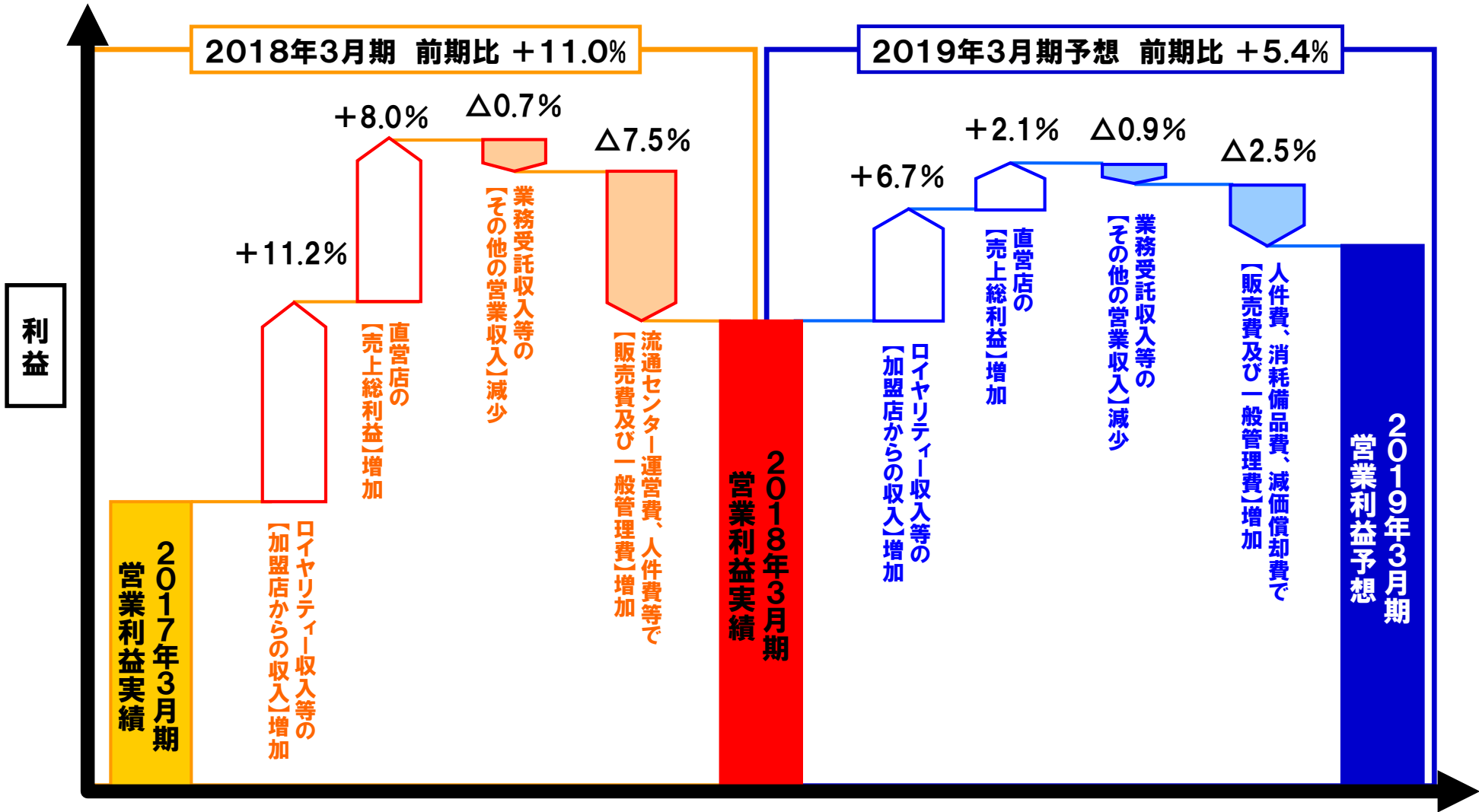
- ・ 2019年3月末フランチャイズ・ストア 720店舗
- ・ 運営形態変更計画

業務委託店→フランチャイズ・ストアへ

29店舗変更(前期実績 29店舗)



収益分析グラフ



※数値は営業利益の増減に影響を与える
主な要因を概数で表したものです。

要 因

■ 基本方針

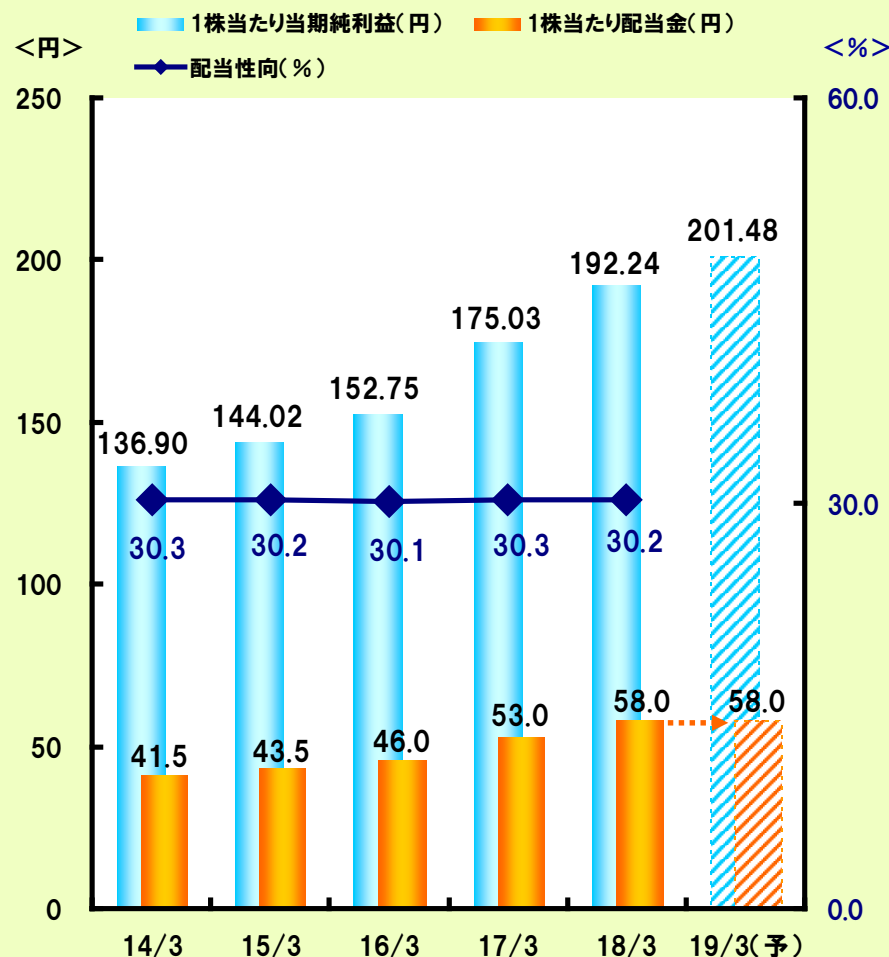
当社は、株主の皆様に対して、適正な利益配分を継続して実施することを経営の重要課題と位置づけ、永続的な成長を実現するために必要な内部留保の充実を図りながら、業績に基づいた利益の配分を行っております。

■ 配当性向 30%を目処

■ 1株当たり配当金

- ・ 2018年3月期
5円増配し **58円**を予定。(8期連続増配)
- ・ 2019年3月期
前期同様の **58円**を予想。

1株当たり当期純利益と配当金の推移



※2016年4月1日に実施した1:2の株式分割を考慮した数値を記載しております。

2018年3月期決算の概要

今後の戦略について

2019年3月期決算の見通し

 ***2018年3月期決算の詳細***

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2017年 3月期末	2018年 3月期末	増減	増減要因
流動資産	47,848	52,193	4,344	
現金及び預金	34,048	38,174	4,125	P.24のキャッシュフロー計算書で説明
加盟店貸勘定	5,969	6,303	333	対象店舗が26店舗増加(594店舗→620店舗)
商品	6,634	6,477	△156	店舗在庫が2億18百万円減少、流通センター在庫が2億77百万円増加、海外仕入の未着商品が2億36百万円減少、直販部及びオンラインストア在庫が21百万円増加
その他	1,196	1,238	41	
固定資産	20,915	21,053	138	
有形固定資産	14,458	14,913	455	
建物(純額)	7,457	7,850	393	出店・閉店状況 出店34店舗(S&B4店舗含む)、閉店6店舗
構築物(純額)	1,198	1,314	115	出店形態 建物リース5店舗、土地リース29店舗
工具器具及び備品(純額)	805	820	14	
土地	3,988	3,988	—	
リース資産(純額)	969	908	△60	当期対象店舗1店舗
その他(純額)	39	31	△7	
無形固定資産	321	288	△33	
投資その他の資産	6,135	5,852	△283	
長期前払費用	663	654	△9	
繰延税金資産	636	685	49	
差入保証金	4,822	4,498	△323	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
その他	13	13	0	
資産合計	68,763	73,246	4,483	

貸借対照表2

<単位:百万円>

負債/純資産の部	2017年 3月期末	2018年 3月期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	11,709	10,932	△776	
買掛金・加盟店買掛金	3,974	3,955	△19	
未払金	3,639	1,753	△1,885	新伊勢崎流通センター建設代金 20億47百万円減少
未払法人税等	1,966	2,408	442	
未払消費税等	—	610	610	
その他	2,128	2,203	74	
固定負債	3,299	2,936	△363	預り保証金を1契約150万円から100万円に減額
リース債務	1,116	1,050	△66	
資産除去債務	962	1,013	51	
その他	1,220	871	△348	
負債合計	15,009	13,868	△1,140	
株主資本	53,752	59,433	5,681	
純資産合計	53,754	59,378	5,623	自己資本比率81.1% 2.9ポイント増
負債純資産合計	68,763	73,246	4,483	

キャッシュ・フロー計算書

<単位:百万円>

	2017年3月期	2018年3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,987	9,857	2,869
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,129	△4,467	6,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,971	△2,264	△292
現金及び現金同等物の増加額	△6,112	3,125	9,238
現金及び現金同等物の期首残高	21,661	15,548	△6,112
現金及び現金同等物の期末残高	15,548	18,674	3,125

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・税引前当期純利益で 11億 56百万円増加
- ・たな卸資産の減少で 15億 31百万円増加
- ・未払消費税等の増加で 8億 94百万円増加
- ・加盟店貸勘定の増加で 3億 40百万円減少
- ・仕入債務の減少で 5億19百万円減少
- ・預かり保証金の減少で 3億 56百万円減少

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・預入期間が3ヶ月を超える定期預金の預け入れ 10億円の増加
- ・預入期間が3ヶ月を超える定期預金の払い戻し 90億円の増加
- ・有形固定資産の取得による支出の増加で 13億 93百万円

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・配当金の支払額 2億 86百万円増加

損益計算書1

<単位:百万円、%>

	2017年3月期		2018年3月期			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	
営業収入	13,386		14,390		+7.5	
加盟店からの収入	10,243		11,311		+10.4	加盟店期中平均店舗数 当期680店舗、前期655店舗 25店舗増加 加盟店売上高 当期710億98百万円、前期663億40百万円 7.2%増加 荒利率…前期35.5%、当期35.7%
その他の営業収入	3,142		3,078		△2.0	国内メーカーからの仕入高(直買仕入等を除いた)前期比 0.3%減で業務受託収入約38百万円減少 賃貸料収入約15百万円減少
売上高	38,691		41,692		+7.8	
直営店売上高	7,951	(100.0)	8,604	(100.0)	+8.2	直営店期中平均店舗数 前期比 3店舗増加
加盟店向け商品供給売上高	30,740		33,087		+7.6	加盟店売上高前期比7.2%増加
営業総収入	52,077	100.0	56,083	100.0	+7.7	
直営店売上原価	2,640	5.1	2,527	4.5	△4.3	
加盟店向け商品供給売上原価	30,740	59.0	33,087	59.0	+7.6	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	33,380	64.1	35,614	63.5	+6.7	

損益計算書2

<単位:百万円、%>

	2017年3月期		2018年3月期			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	
売上総利益	(5,310)	(66.8)	(6,077)	(70.6)	+14.4	
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	18,696	35.9	20,468	36.5	+9.5	
販売費及び一般管理費	9,143	17.6	9,864	17.6	+7.9	増減要因 人件費 約1億6百万円増加 販売費 約40百万円増加 直営店舗期中平均店舗数増加(3店舗) 約38百万円増加 流通センター運営費用 約2億66百万円増加 旅費交通費、消耗備品費等一般管理費 約3億2百万円増加 地代家賃等一般管理費 約31百万円減少
営業利益	9,553	18.3	10,603	18.9	+11.0	
営業外収益	1,243	2.4	1,312	2.3	+5.5	
営業外費用	62	0.1	59	0.1	△3.5	
経常利益	10,735	20.6	11,856	21.1	+10.4	
特別利益	1	0.0	—	—	—	
特別損失	97	0.2	60	0.1	△37.4	減損損失 営業店1店舗、閉店予定7店舗、返却予定4店舗で 約53百万円計上 固定資産除却損 閉店1店舗、店舗入口看板交換で約7百万円計上
当期純利益	7,142	13.7	7,844	14.0	+9.8	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 財務部IRグループ

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>